

ごみ処理手数料見直し後の状況について

1. ごみ処理手数料見直し後の状況について

①ごみ減量・リサイクルの状況について

②可燃ごみの状況について

③不燃ごみの状況について

④粗大ごみの状況について

⑤古紙等の状況について

⑥施設への直接搬入について

⑦ペットボトル、プラスチック容器包装類の分別状況について

⑧取り残しごみの状況について

⑨令和3年度ごみ処理経費と収入について

⑩啓発事業の実施状況について

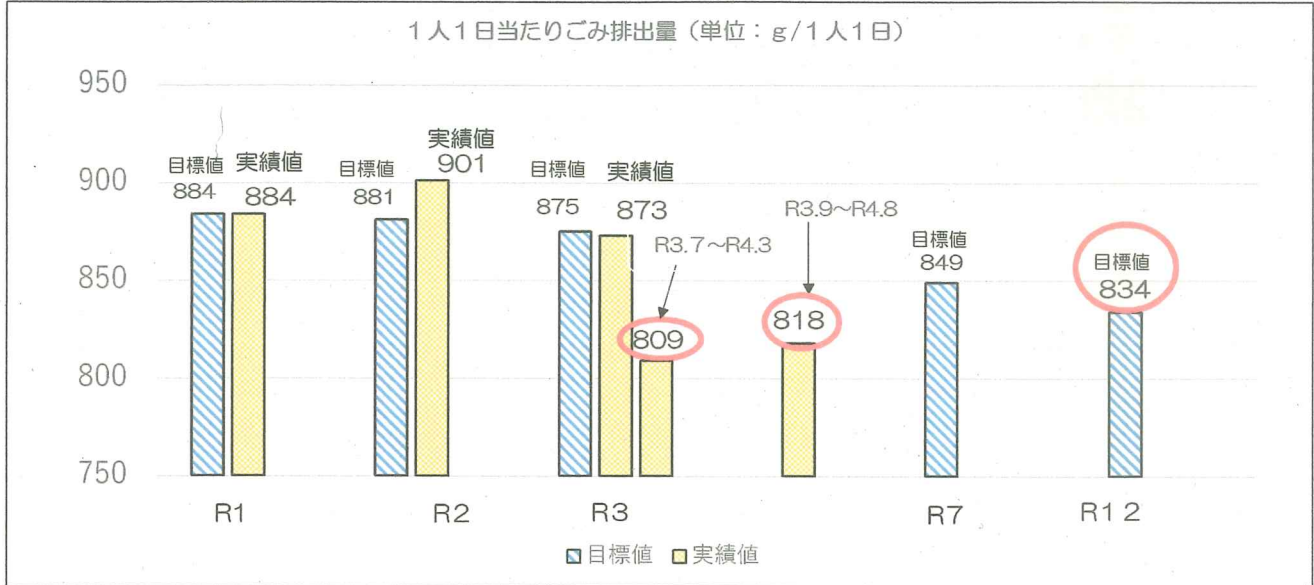
※本資料内の数値は速報値であるため、今後修正となる可能性があります。

ごみ処理手数料見直し後の状況報告について

①ごみ減量・リサイクルの状況について

(1) 1人1日あたりごみ排出量の推移について

- ・ごみ処理基本計画では、1人1日あたりごみ排出量を令和元年度884g（実績）から、令和12年度には834gとする目標を設定。
- ・直近1年間の実績でも、目標値を上回るペースでごみ減量が進んでいる。



3

ごみ処理手数料見直し後の状況について

①ごみ減量・リサイクルの状況について

(2) 京都府内での状況について

- ・直近一年間の1人1日あたりごみ排出量は、R3.4~R4.3の実績と比較すると、やや増加しているが、令和2年度、3年度と比較すると大幅に減少。ごみ処理手数料見直しがごみ減量の推進に繋がったと言える。

	R2実績	R3実績	R3.7~R4.3 実績	R3.9~R4.8 実績	京都府内平均 (令和2年度)	R12(目標年度)
1人1日あたり ごみ排出量	900.8g	872.8g	809.3g	817.5g	785g	834g
資源化率	14.0%	14.1%	14.1%	14.0%	14.3%	17.5%
最終処分量 (1人/年)	52.0kg	52.3	42.5kg(注)	45.0kg	40.1kg	41.6kg

(注)9ヶ月分の実績を12ヶ月に換算して算出

4

ごみ処理手数料見直し後の状況について

①ごみ減量・リサイクルの状況について

(3) 1人1日あたりごみ排出量について

- 令和3年9月以降の1人1日あたりごみ排出量は、令和2年度比で83.3g、9%減少。全品目のごみ排出量が減少している。

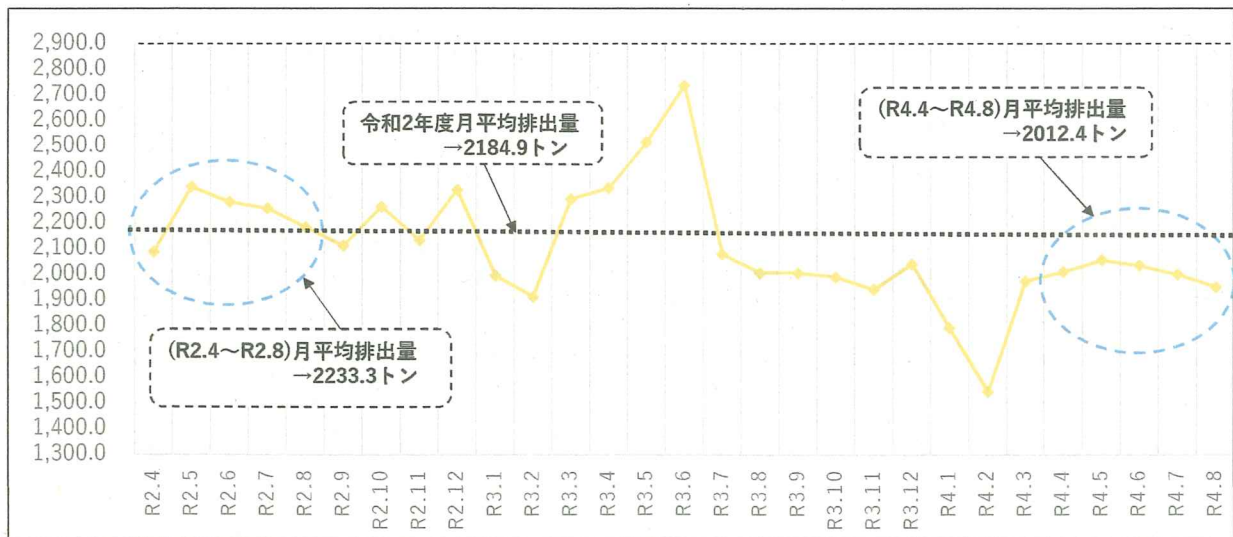
	R2		R3		R3.7~R4.3		R3.9~R4.8	
	実績	実績	R2比増減	実績	R2比増減	実績	R2比増減	
1人1日ごみ排出量 (g/1人1日)	900.8g	872.8g	△28.0g △3.1%	809.3g	△91.5g △10.2%	817.5g	△83.3g △9.2%	
可燃ごみ(g/1人1日)	692.3g	676.5g	△15.8g △2.3%	648.7g	△43.6g △6.3%	656.1g	△36.2g △5.2%	
不燃ごみ(g/1人1日)	103.9g	99.4g	△4.5g △4.3%	78.9g	△25.0g △24.1%	79.9g	△24.0g △23.1%	
粗大ごみ(g/1人1日)	39.2g	37.5g	△1.7g △4.3%	26.9g	△12.3g △31.4%	26.6g	△12.6g △32.1%	
古紙等(g/1人1日)	65.4g	59.4g	△6.0g △9.2%	54.9g	△10.5g △16.1%	54.9g	△10.5g △16.1%	

5

ごみ処理手数料見直し後の状況について

①ごみ減量・リサイクルの状況について

(4) ごみ排出量(全品目)の推移について(単位：t)

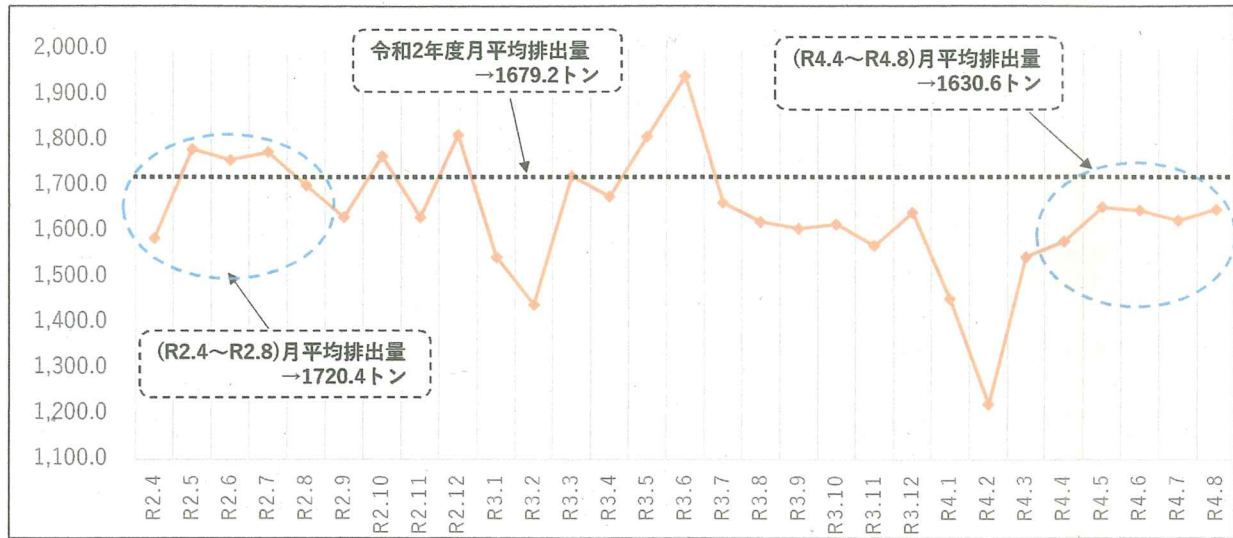


- ごみ月平均排出量は、手数料見直し前の令和2年度の同時期と比較しても、月平均で220.9トン、9%減少している。

ごみ処理手数料見直し後の状況について

②可燃ごみの状況について

(1)可燃ごみ排出量の推移について(単位：t)



- 可燃ごみ月平均排出量は、手数料見直し前の令和2年度の同時期と比較しても、月平均で89.8トン、5%減少している。

ごみ処理手数料見直し後の状況について

②可燃ごみの状況について

(2)1人1日あたり可燃ごみ排出量について(単位：g)

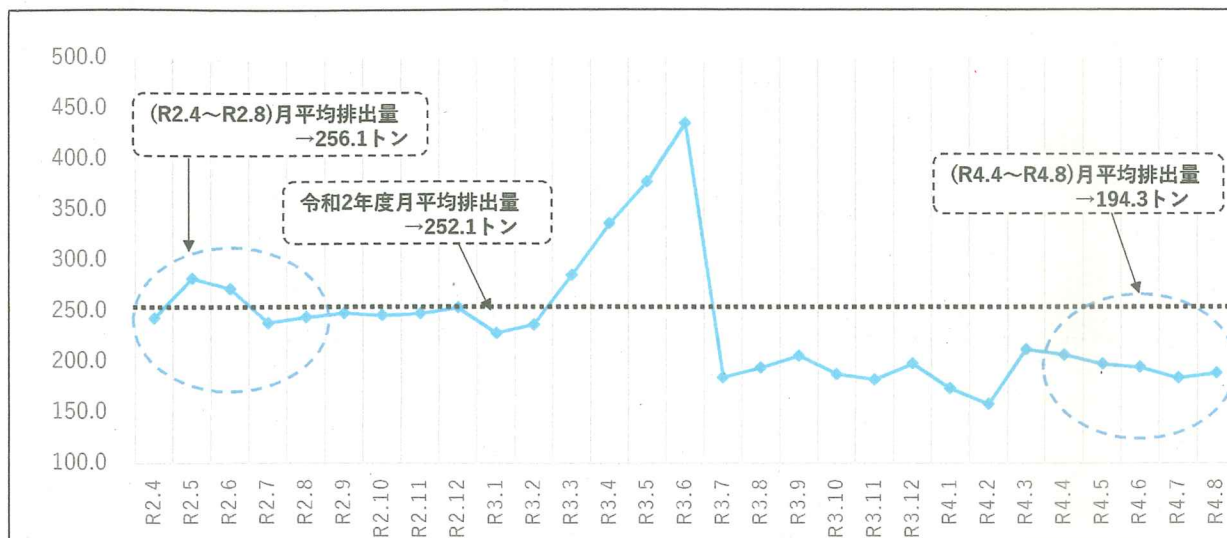
- 令和3年9月以降の生活系可燃ごみは36.2g、5%の減少。事業系可燃ごみについては2.6g、1%の減少。

	R2	R3		R3.7~R4.3		R3.9~R4.8	
	実績	実績	R2比増減	実績	R2比増減	実績	R2比増減
1人1日あたり可燃ごみ排出量	692.3g	676.5g	△15.8g △2.3%	648.7g	△43.6g △6.3%	656.1g	△36.2g △5.2%
生活系可燃ごみ	457.4g	439.3g	△18.1g △4.0%	418.4g	△39.0g △8.5%	423.8g	△33.6g △7.3%
事業系可燃ごみ	234.9g	237.3g	2.4g 1.0%	230.3g	△4.6g △2.0%	232.3g	△2.6g △1.1%

ごみ処理手数料見直し後の状況について

③不燃ごみの状況について

(1)不燃ごみ(7種9分別)排出量の推移について(単位：t)



- 不燃ごみ月平均排出量は、手数料見直し前の令和2年度の同時期と比較し、月平均で61.8トン、24%減少。

ごみ処理手数料見直し後の状況について

③不燃ごみの状況について

(2) 1人1日あたり不燃ごみ排出量について(単位：g)

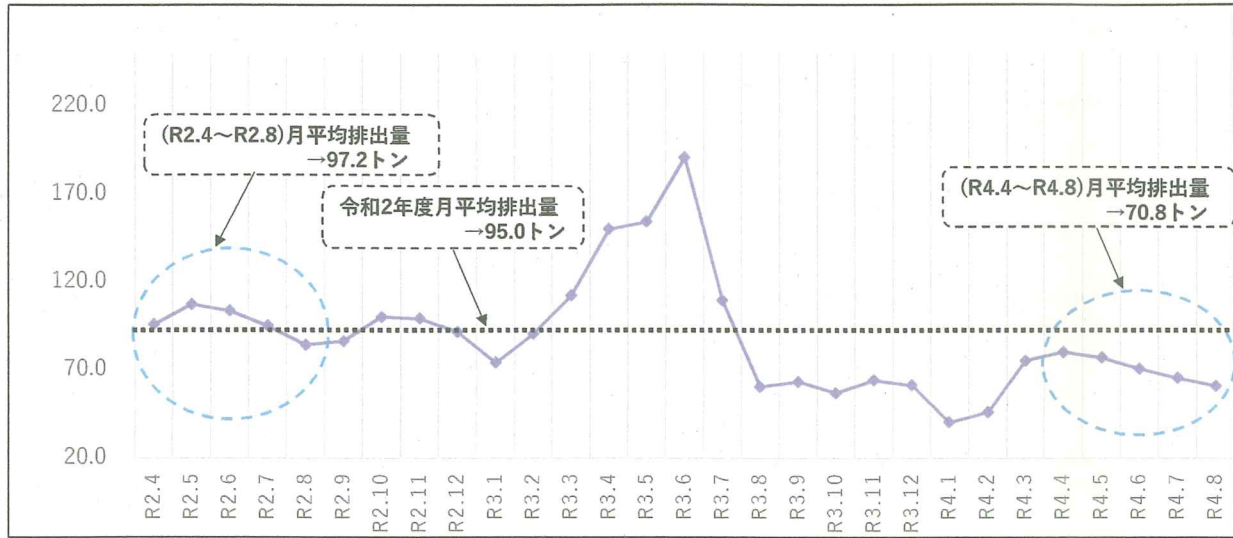
- 直近一年間の1人1日あたり不燃ごみ排出量はR3.7~R4.3よりは若干増加しているが、R2と比較すると約23%減少しており、手数料見直しによりごみ減量が推進したと言える。

	R2	R3		R3.7~R4.3		R3.9~R4.8	
	実績	実績	R2比増減	実績	R2比増減	実績	R2比増減
不燃ごみ(7種9分別)	103.9g	99.4g	△4.5g △4.3%	78.9g	△25.0g △24.1%	79.9g	△24.0g △23.1%
埋立ごみ	48.5g	45.3g	△3.2g △6.6%	28.6g	△19.9g △41.0%	29.0g	△19.5g △40.2%
プラスチック容器包装類	21.1g	22.2g	1.1g 5.2%	21.8g	0.7g 3.3%	21.8g	0.7g 3.3%
ペットボトル	6.3g	5.2g	△1.1g △17.5%	4.7g	△1.6g △25.4%	4.9g	△1.4g △22.2%
金属類	8.7g	8.1g	△0.6g △6.9%	6.3g	△2.4g △27.6%	6.2g	△2.5g △28.7%
飲料用空缶類	4.0g	3.6g	△0.4g △10.1%	3.4g	△0.6g △15.1%	3.4g	△0.6g △15.1%
食用びん類	13.1g	13.1g	0.0g 0.0%	12.5g	△0.6g △4.6%	12.6g	△0.5g △3.8%
有害ごみ	2.3g	2.1g	△0.2g △8.7%	1.7g	△0.6g △26.1%	2.1g	△0.2g △8.7%

ごみ処理手数料見直し後の状況について

④粗大ごみの排出状況について

(1)粗大ごみ排出量の推移について(単位：t)



- 粗大ごみ月平均排出量は、手数料見直し前の令和2年度同時期と比較し、月平均で26.4トン、27%減少。

ごみ処理手数料見直し後の状況について

④粗大ごみの状況について

(2)1人1日あたり粗大ごみ排出量について

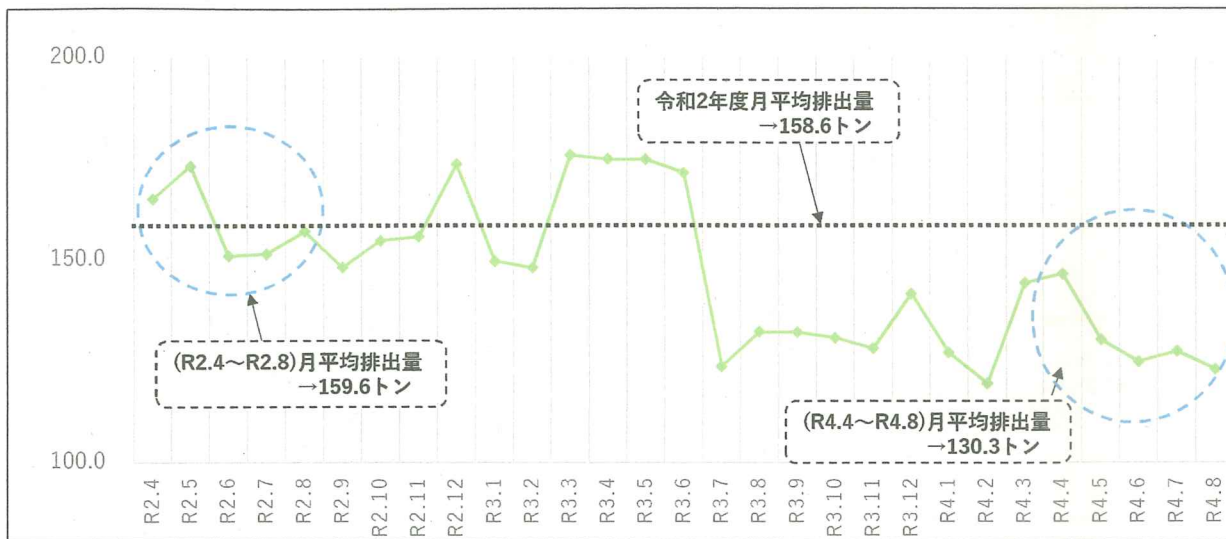
- 直近1年間の1人1日あたり粗大ごみ排出量は32%減少。
- 粗大ごみの排出量は減少しているが、戸別収集の利用件数は増加している。直接搬入から戸別収集へ排出方法が移行したと言える。

	R2	R3		R3.7~R4.3		R3.9~R4.8	
	実績値	実績値	R2比増減	実績値	R2比増減	実績値	R2比増減
1人1日あたり排出量 (単位：g)	39.2g	37.5g	Δ1.7g Δ4.3%	26.9g	Δ12.3g Δ31.4%	26.6g	Δ12.6g Δ32.1%
戸別収集利用世帯数	705世帯	821世帯	116世帯増			762世帯	57世帯増

ごみ処理手数料見直し後の状況について

⑤古紙等の状況について

(1)古紙等排出量の推移について(単位：t)



- 古紙等月平均排出量は、手数料見直し前の令和2年度同時期と比較して、月平均で29.3トン、18%減少。

ごみ処理手数料見直し後の状況について

⑤古紙等の状況について

(2)古紙等の1人1日あたり排出量について(単位：g)

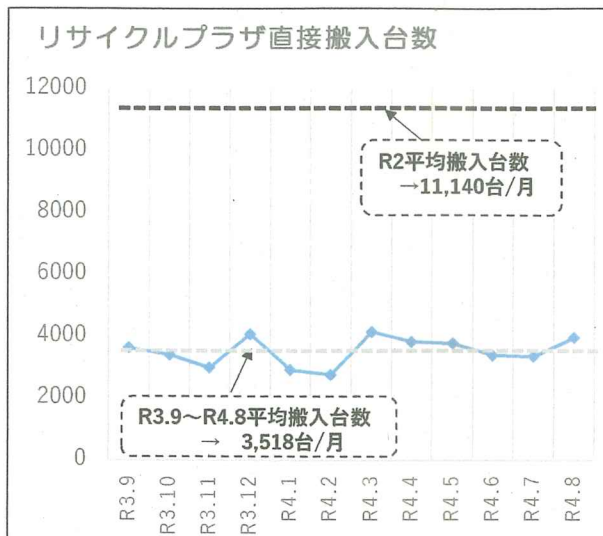
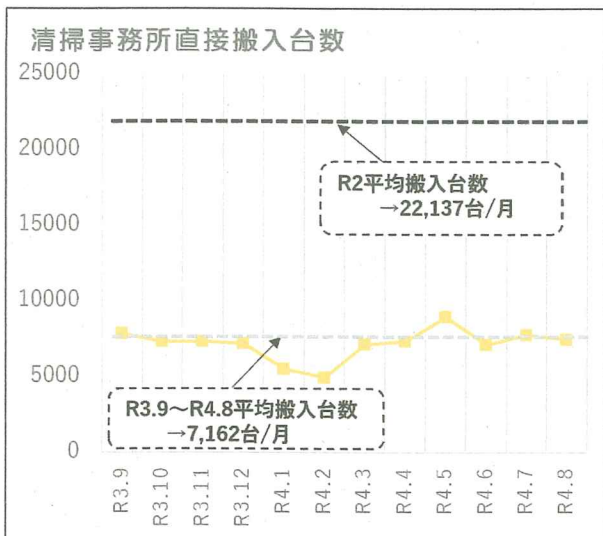
- 令和3年9月以降の1人1日あたり古紙等の排出量は10.5g、16%減少。
直接搬入量は10.9g、52%減少。

	R2	R3		R3.7~R4.3		R3.9~R4.8	
	実績	実績	R2比増減	実績	R2比増減	実績	R2比増減
1人1日あたり古紙等排出量	65.4g	59.4g	△6.0g △9.2%	54.9g	△10.5g △16.1%	54.9g	△10.5g △16.1%
分別収集	24.0g	25.5g	1.5g 6.3%	25.1g	1.1g 4.6%	25.0g	1.0g 4.2%
直接搬入	20.4g	13.6g	△6.8g △33.3%	9.5g	△10.9g △53.4%	9.5g	△10.9g △53.4%
集団回収	21.0g	20.3g	△0.7g △3.3%	20.3g	△0.7g △3.3%	※20.5g	— —

※R4数値は無いためR3実績を掲載

⑥施設への直接搬入について

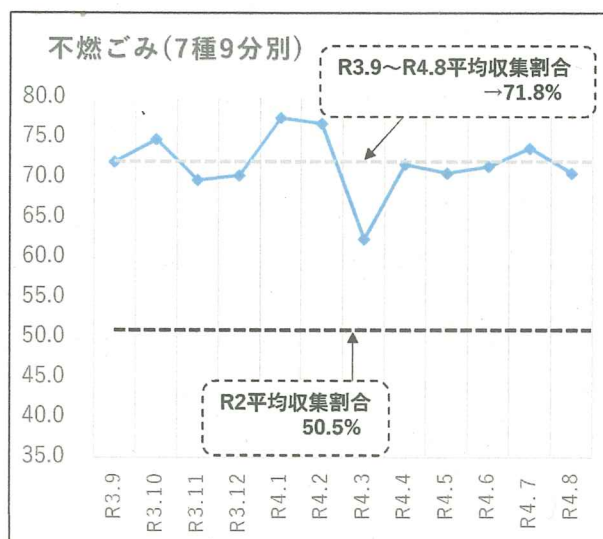
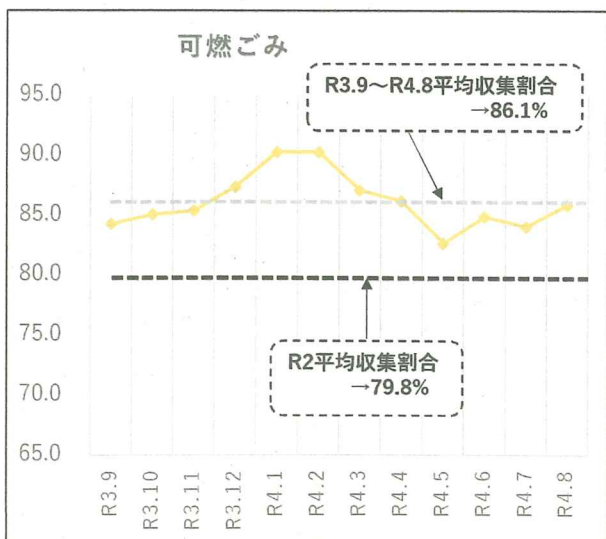
(1) 両施設の搬入台数の変化について



- ・清掃事務所は月平均で14,975台、68%減少。リサイクルプラザは7,622台、68%減少。
- ・両施設とも、搬入台数は搬入受付手数料導入前と比べ低い水準を維持している。

⑥施設への直接搬入について

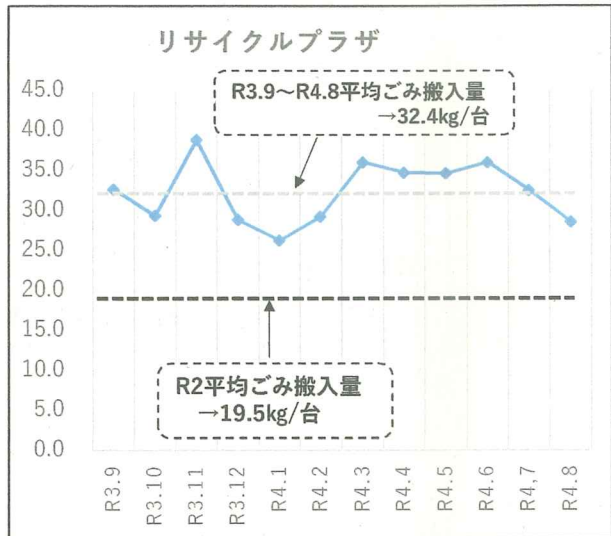
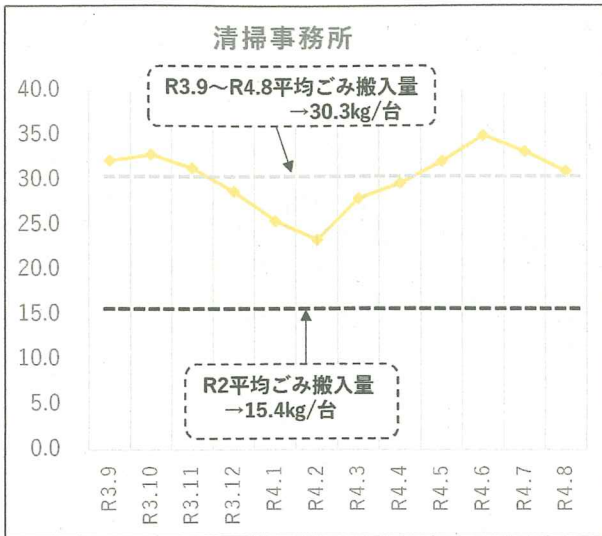
(2) 可燃ごみ・不燃ごみの収集割合(収集量/ごみ排出量)について(単位：%)



- ・搬入受付手数料導入前の令和2年度と比較して、可燃ごみ、不燃ごみともに収集割合が増加しており、直近一年間でも、その水準を維持している。

⑥施設への直接搬入について

(3) 直接搬入1台あたりのごみ搬入量の変化について(単位：kg/台)



- 搬入受付手数料導入前の令和2年度と比較して、両施設とも1台あたりのごみ搬入量は増加しており、直近1年間でもその水準を維持している。

⑦ペットボトル、プラスチック容器包装類の分別状況について

ペットボトル

		H30※	R2	R3(速報値)
		実績	実績	実績
舞鶴市	資源化量(t)	141 t	172 t	148 t
	1人1年あたり量(kg)	1.7kg	2.2kg	1.9kg
福知山市	資源化量(t)	183 t	180 t	
	1人1年あたり量(kg)	2.3kg	2.3kg	
亀岡市	資源化量(t)	120 t	129 t	
	1人1年あたり量(kg)	1.4kg	1.5kg	

※平成30年度は不燃ごみ7種9分別導入前

プラスチック容器包装類

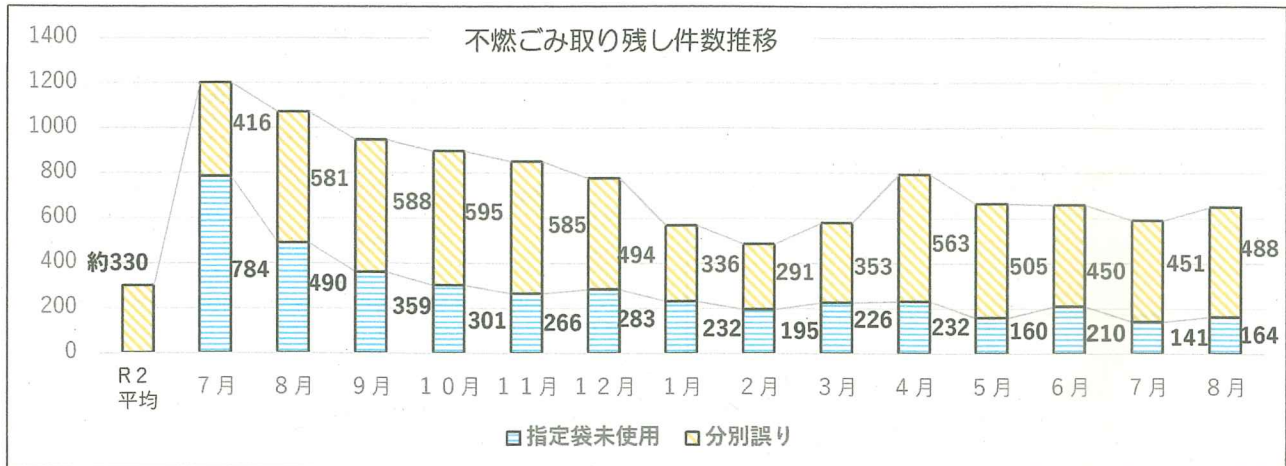
		H30※	R2	R3(速報値)
		実績	実績	実績
舞鶴市	資源化量(t)	286 t	609 t	635 t
	1人1年あたり量(kg)	3.5kg	7.6kg	8.1kg
福知山市	資源化量(t)	725 t	754 t	
	1人1年あたり量(kg)	9.2kg	9.8kg	
亀岡市	資源化量(t)	691 t	736 t	
	1人1年あたり量(kg)	7.8kg	8.4kg	

出典：令和2年度一般廃棄物処理実態調査結果(R4.4.20公表)

- ペットボトル、プラスチック容器包装類共に令和元年度の不燃ごみ7種9分別導入を機に、資源化量が増加している。
- プラスチック容器包装類については資源化量が大幅に向上したが、1人1年あたり排出量は、分別収集を先行導入した他市と比較し、更なる向上の余地があるものと思われる。

⑧取り残しごみの状況について

(1) 令和3年7月以降の不燃ごみ取り残し（収集できないごみ）



- ・不燃ごみ指定ごみ袋制導入から1年が経過し、指定ごみ袋未使用による取り残しは、見直し直後と比較すると約1/5にまで減少している。
- ・一方で分別誤りによる取り残し件数は、令和4年4月に増加し、その後も同程度の水準で推移している。

⑧取り残しごみの状況について

(2) 取り残しごみの調査について

分別誤りによって取り残しとなったごみを実態調査。

- ・集積所へのパトロール
集積所で取り残しとなっているごみの内容調査を実施。



- ・取り残しごみの開封調査
分別誤りにより取り残しとなったり市で回収したものの開封調査。

例①：プラスチック容器包装類としてプラスチック製品が排出。

例②：埋立ごみとして可燃ごみ（サンダル・靴）が排出。

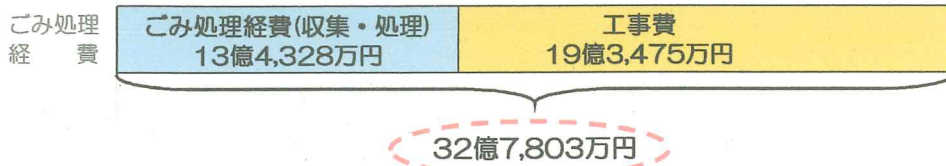


調査で判明した傾向、間違いやすい分別区分については今後の啓発活動で活用。

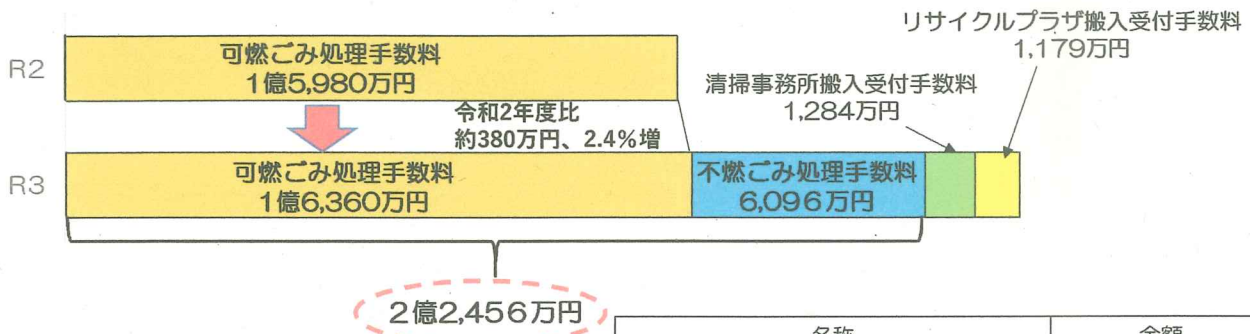
ごみ処理手数料見直し後の状況について

⑨令和3年度ごみ処理経費とごみ処理手数料収入について

(1)ごみ処理経費について



(2)ごみ処理手数料収入について



ごみ処理手数料収入については右記の各経費へ充当。

名称	金額
指定ごみ袋関連経費(製造・保管配送等)	1億120万円
高齢者等ごみ出し支援事業	190万円
ごみ処理経費(収集・処理・最終処分)	1億2,146万円
合計	2億2,456万円

ごみ処理手数料見直し後の状況について

⑩啓発事業等の実施状況について

(1) 令和4年度の主な啓発事業について

- ①市内の小学校や各種団体にゴミ減量、資源化の推進について出前講座を実施。
- ②市内小学校の社会見学で最終処分場の施設見学の受入を実施。
- ③リサイクルプラザでリサイクル・フリーマーケットを3年ぶりに開催。



(2) まいづる環境市民会議 循環型PT事業

事業名：えほんのリユース会開催について
 内容：おもちゃ交換会「かえっこバザール」で集まったえほんの配布。
 日時：令和4年10月29日(土)
 場所：東図書館

